



トピックス

2021. 2. 彩都けいあい

～1月こんなことをして遊んだよ～

3学期が始まりました。登園してきた日には「あけましておめでとうございます」の元気一杯の挨拶で気持ちの良い爽やかな新年のスタートとなりました。

「ふゆやすみのやくそくひょう」を友達と見せ合いながら、温かい思い出のエピソードを沢山話してくれた子ども達です。早いもので、進級・進学まで残すところ2ヶ月となりました。様々な行事を通して、新しい挑戦を積み重ねてきた子ども達の生活面・技術面・友達関係などにおいての成長を実感し、胸が熱くなるこの頃です。残りの2ヶ月も沢山の楽しい思い出と共に、一人ひとりの課題の見直しをしながら、更なる成長に繋げていきます。

～発表会活動～

<年少組>

各クラスの物語の内容に添う様々なあそびを取り入れて活動しています。あそびの中で行なう事で自然と内容が頭に入り、子ども達からの意見も沢山出ています。中でも歌に振りを加える時には、皆手を挙げて「こんなのはどうかな？」と可愛らしい動きを提案したりと、子ども達にとって思い出のある歌となりました。



<年中組>

物語の中で二役に分かれて表現しています。それぞれの登場人物になりきり、今はどのような気持ちなのかを感じながら取り組んでいます。また、セリフも活動の中で子ども達と一緒に考えて進めており、より感情を込めて演じることが出来てきました。



<年長組>

年長組では場面ごとの登場人物の気持ちを想像し、表情や台詞の言い方を考えています。場面によって力強い表情から悲しそうにする表情まで意識していくことができています。また全員で動きを揃えるだけでなく、それぞれが思い思いの表現をする場面があります。経験を重ねていき場面にあった様々な表現を自信を持って行える様取り組んでいきます。



1月の食育だより

今月は全学年『おせち料理の由来』と『三つの色の食べ物列車』について学びました。

おせち料理の写真を見せると「見たことある〜!」と話し、食べたことのある物を口々に言っていた子ども達です。

名称や由来について話した時に一番反応が良かったおせちは「エビ」でした。“腰曲がりのエビが長寿祈願になる”と伝えると目を丸くして驚き、「エビってみんなおじいちゃんってこと?」と可愛らしい発言もありとても微笑ましかったです。おせち料理に込められた意味を知り、楽しんでいました。



また、学年毎で講堂に集まり『三つの色の食べ物列車』のパネルシアターを見ました。赤・黄・緑の列車に、「それぞれどんな働きがある食べ物が乗れるのか」という話の後にクイズがありました。

トマトやイチゴが出てきたときには、色を見て赤!と予想する子も多かったのですが、色ではなく野菜や果物は緑の列車に乗ることを教えてもらい、楽しみながら学ぶことが出来ました。



＜発表会オープニングの歌＞

『きみイロ』

真っ赤な太陽 おはようさん
今日も世界がイロ持って
青いお空に白い雲 緑がゆれる
※

イロイロとりどりのイロ みんながイロイロなイロ持って あんなイロこんなイロどんなイロ たったひとつ きみイロ

ひとりひとりイロ違い
君だけのイロを探すんだ
七つより添い合えば きらきらの虹
※ くりかえし
楽しそうに君が歌い笑う声も
イロづいてきれいな 音色になる
イロイロとりどりのイロ
めイロも進んで いざまイロウ！
あんなイロこんなイロどんなイロ
たったひとつきみイロ

『ぼくらのマーチ』

1. 歌いたいから 歌うんだ
気持ち良いから 歌うんだ
「みなさん ようこそ 発表会が始まるよ
最後まで 見てね」
ラッラー ラリルレロ みんなでラリルレロ
ラッラー ラリルレロ ぼくらのマーチ
2. 笑いたいから 笑うんだ
気持ち良いから 笑うんだ
「元気なお友達を呼んでみましょう」
「Boys!」「Yes,I'm here!」
「Girls!」「Yes,I'm here!」
「がんばるぞ エイエイオー！」
ハッハー ハヒフヘホ みんなでハヒフヘホ
ハッハー ハヒフヘホ ぼくらのマーチ

＜発表会エンディングの歌＞

『唱歌メドレー』

1. 歌の町
2. 烏からすの赤ちゃん
3. 山寺の和尚さん
4. 春の唄



『手をつなごう』

世界 みんなが もし手をつないだら
すぐに大好きになって 嬉しくなっちゃうね
手をつなぐってまるで 魔法みたいだね
知らない誰かさんだった 君と僕はもう友達だ
※ 手をつなごう 手をつなごう 手をつないだ時の方が
力がわいてくるよ 優しい気持ちになるよ
手をつなごう 手をつなごう 嘘じゃないさ確かめてみよう
さあ、一緒に手をつなごう
大好きな友達が 世界中にいるなら
この地球はなんて 素敵な場所だろう
手をつなごう 手をつなごう 手をつないだ時の方が
涙は心配になるし 笑顔に嬉しくなるんだ
それはきっと 君と僕が友達になったって証拠
さあ一緒に手をつなごう
※ 繰り返し